

# 令和5年度 広域農林水産業振興の取組について

令和5年10月7日  
広域産業振興局農林水産部



関西広域連合  
UNION OF KANSAI GOVERNMENTS

# 関西広域農林水産業ビジョン(H25年11月策定)の概要

## 関西農林水産業の現状認識

【現状と特徴】		
多様な農林水産物	歴史と伝統ある食文化	大消費地が内在
【課題】		
所得の減少、不安定化	就業者の減少、高齢化	生産基盤の弱体化

## 関西農林水産業が目指す将来像(20~30年後)

<p>歴史と伝統ある関西の食文化を支える農林水産業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>食文化は関西のアピールポイント</li> <li>多様な農林水産物の域内外への供給を強化・拡大</li> <li>食文化の海外発信により需要を拡大</li> </ul> <p>関西の食文化と域内外の消費を支える農林水産業へ</p>	<p>異業種と連携した競争力ある農林水産業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>商工業や医療・福祉等、多様な産業との連携</li> <li>大学等研究機関との連携</li> <li>6次産業化の推進</li> <li>企業等の参入促進</li> </ul> <p>付加価値の高い商品開発や国内外への販路拡大へ</p>
<p>都市と共生・交流する活力溢れる農林水産業・農山漁村</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>直売所やマルシェ、観光農園、農家民宿等により安全・安心な食材提供</li> <li>グリーンツーリズムや市民農園等の推進</li> <li>都市部からの移住・定住</li> </ul> <p>都市と農山漁村が互いの魅力をかち合う関係へ</p>	<p>多面的機能を発揮する関西の農林水産業・農山漁村</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水源かん養、国土保全、景観形成等、様々な役割</li> <li>都市農業においては緑地空間の提供等</li> <li>多面的機能は都市を含む全ての住民が享受</li> </ul> <p>府県市民が多面的機能の認識を共有し、基盤の保全へ</p>

## 将来像の実現に向けた6つの戦略(今後10年)

<p><b>戦略1 地産地消運動の推進による域内消費拡大</b></p> <p>食育による啓発、学校給食での利用促進、直売所間の連携促進等により、エリア内農林水産物の広域圏内での消費拡大を推進</p>
<p><b>戦略2 食文化の海外発信による需要拡大</b></p> <p>観光・文化振興分野と連携し、食文化と農林水産物をセットにしたプロモーション、訪日外国人を農山漁村に誘致すること等を通じ、関西食文化とそれを支える農林水産物の素晴らしさをPR</p>
<p><b>戦略3 国内外への農林水産物の販路拡大</b></p> <p>広域内の高品質で競争力ある農林水産物と加工品について、スケールメリットを活かした効果的な情報発信、プロモーションにより、国内外に販路を拡大</p>
<p><b>戦略4 6次産業化や農商工連携の推進などによる競争力の強化</b></p> <p>府県市域を越えた農林水産業と異業種・異分野とのマッチング等により、6次産業化、農商工連携をすすめ、域内農林水産物を活用した新たな商品開発と販路開拓を促進</p>
<p><b>戦略5 農林水産業を担う人材の育成・確保</b></p> <p>農林水産業に関する就業相談会、各府県農業高等学校の連携、林業高等学校の広域での活用等により、後継者はもとより、都市住民の新規参入、法人経営体への就業促進等、多様な就業者を育成・確保</p>
<p><b>戦略6 都市との交流による農山漁村の活性化と多面的機能の保全</b></p> <p>農山漁村の魅力や多面的機能のアピール、市民農園等のあらゆる空間での実践の促進により、食と農林水産業への理解の醸成、都市と農山漁村の交流等につなげ、農山漁村の活性化・多面的機能の保全</p>

## ビジョンの実現に向けた関西広域連合と構成府県市の役割

戦略の推進にあたっては、関西広域連合はシナジー効果が見込まれる事業など、その枠組みにおいて実施可能な範囲で役割を果たし、各地域の特徴・実情を踏まえた事業は個々の構成府県市が取り組む

# 戦略1 地産地消運動の推進による域内消費拡大(1)

「まず、地場産・府県産、なければエリア内産」を基本に、特産農林水産物のエリア内での消費拡大を図る

## 1 「おいしい！KANSAI応援企業」の推進

### ○「おいしい！KANSAI応援企業」の登録

広域連合が取り組む地産地消運動の趣旨に賛同する企業等を、「おいしい！KANSAI応援企業」として登録し、社員食堂などでのエリア内産特産農林水産物を使った料理を提供。

参考) 登録数 170 (R5.8月末現在)

### ○「おいしい！KANSAI応援企業」紹介ページの作成と社食でのイベントによるPR

登録企業の社員食堂の紹介をはじめ、CSR活動、社風、社員の声などを取材形式で紹介するページを広域連合ホームページ内に作成するとともに、当該社食において構成府県市の食材を使った料理の提供や産品販売イベントを実施。(R5.11月～開催予定)

参考) 社食でのイベント R4 4回

### 主な登録企業等

- ・TOTO(株)滋賀工場
- ・オムロンヘルスケア(株)
- ・関西電力株式会社
- ・(株)アシックス
- ・(株)紀陽銀行
- ・鳥取大学
- ・大塚製薬株式会社 ほか



社員食堂での産品販売イベント(R4.12)

# 戦略1 地産地消運動の推進による域内消費拡大(2)

## 2 子ども達の特産農林水産物への理解醸成と利用促進

### ○ 出前授業による特産農林水産物の啓発

JA等が実施する府県域を越えた出前授業の取組を促進するため、広域連合が受け入れ希望校とのマッチングを実施。

参考) R5 4小学校等で実施 (R5.8月末現在)  
R4 26小学校等で実施

### ○ 学校給食への特産農林水産物の提供

学校給食における府県域を越えた地産地消を進めるため、構成府県市内小学校等へ特産農林水産物を提供。

参考) R5 8小学校等で実施 (R5.8月末現在)  
R4 214小学校等で実施

## 3 直売所間の交流イベントの実施

広域連合が直売所間のマッチングを行うとともに、府県域を越えたイベントの実施を支援。

参考) R4 9回実施



JAによる出前授業風景



直売所交流イベント

## 戦略2 食文化の海外発信による需要拡大

関西全体の食文化のすばらしさを高品質で多様な農林水産物・加工品の情報と合わせて海外に発信することにより、需要の拡大につなげる。

### 「関西の食リーフレット」等の活用

関西の農林水産物・加工食品及び食文化の情報をリーフレットやHPを通じて海外へ発信。

参考) R4 リーフレット増刷 4,000部



リーフレット

### 関西の食文化

#### 「和食」と「関西の食文化」

日本食は、いまや世界中で注目されており、2013年12月、国際連合教育科学文化機構(ユネスコ)の無形文化遺産に「和食：日本人の伝統的な食文化」として登録されることにもなりました。和食とは、個別の料理そのものを指すものではなく、これまでの日本人が築き上げてきた食に関する知恵・工夫・習慣など、有形無形のもの全てを含んだ概念であり、文化ともいえます。

現在ほど科学や技術が発展していなかった時代、日本人は、自然には神が存在するとの考えから、「自然を尊重する精神」を育んできました。先人たちは、自然と共に生きること、つまり、四季の変化をうまく活用しながら生き抜いてきた「食」に関する知恵の数々が、食文化として各地域に残り、それが子孫に代々伝えられ発展させてきたことによって、現在の和食というかたちがあるものといえるでしょう。

千有余年にわたり、日本の中心地として栄えた関西には、商業や物流の発展とともに、全国各地から様々な食材等が集まるようになり、関西の食文化は上方の味として洗練された料亭文化や茶屋文化に発展してきました。その集大成といえる「京料理」には、旬の食材を活かす「だし」を基本にした調理法のもとに、季節や風情



関西の田園風景



ホームページ

# 戦略3 国内外への農林水産物の販路拡大(1)

関西の魅力ある農林水産物の効果的な情報発信や輸出に向けての機運醸成を図るセミナーを開催し、国内外への販路拡大につなげる。

## 1 国内外への販路拡大につなげる効果的な情報発信

構成府県市が実施する海外プロモーションなどのPRイベントで「関西の食リーフレット」を配布するなど情報発信を実施。

参考) R5 リーフレット 1,440部配布 (R5.8月末現在)  
(大阪市1,050部、徳島県200部、和歌山県100部など)

## 2 事業者向け食品輸出セミナーの開催

食品輸出の機運を醸成し、意欲のある事業者に有益な情報を提供するため、食品輸出セミナーを開催。(R6.1月開催予定)

参考) R5.1月開催  
(オンライン配信による実施)

### 農林水産部-産品販売サイト等のご案内

関西広域連合構成府県市の産品を購入できるサイトをご案内します。この機会に、是非各地の産品を購入していただけたらと思います。

その他、各府県市の自産の産品や食の情報・イベント情報等をお知らせするサイトもご覧ください。

#### 1.産品販売に関するページ

各府県市の産品を直接購入できるサイトのご案内です。

- 兵庫県「兵庫農産物協会」
- 和歌山県「ふるさと和歌山わいわい市場」
- 鳥取県「鳥取の「食」買いたい!食べたい!!」
- 徳島県「あるねっと徳島」
- 堺市「堺の特産品ネット商店街(メール券)」

#### 2.「ブランド産品」に関するページ

各府県市の自産のブランド産品を紹介するサイトのご案内です。

- 滋賀県「滋賀の美味しいコレクション」

### 販売促進サイト

<p><b>講演1</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>● テーマ:競争力強化のための付加価値の創出について</li><li>● 講師:佐久間 朋宏 氏 (一般社団法人ハラル・ジャパン協会 代表理事) 近年注目されつつある各種認証(食品衛生、ハラル、コシヤ等)やヴィーガン・ベジタリアンなどへの対応の重要性について、食品輸出の観点からご講演いただきます。</li></ul>	
<p><b>講演2</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>● テーマ:香港市場での優位性獲得について</li><li>● 講師:デニス・ウー 氏 (鮮珍味(香港)有限公司 董事) 味珍味(香港)有限公司は、日本食品を幅広く取扱う香港の食品専門輸入商社。香港市場における日本産食品市場について、コロナ後に求められていることや、激化する競争の中での差別化に関して現地からご講演いただきます。</li></ul>	
<p><b>講演3</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>● テーマ:輸出に取り進む生産者の事例報告</li><li>● 講師:美苗 枝美 氏 (鹿児島県指宿市/株式会社天音農園 専務取締役) 減農薬や土壌にこだわった野菜の生産・販売を行い、輸出先国ニーズに対応するため各種認証を取得するなど、精力的に海外への販路拡大を行っておられる事例をおまえ、輸出拡大に向けた取組について講演いただきます。</li></ul>	

食品輸出セミナー(案内より抜粋)

# 戦略3 国内外への農林水産物の販路拡大(2)

## 3 WEB型マッチング商談会の開催

ポストコロナにおける多様な販路の開拓を支援するため、特色ある農林水産物の生産者や食品加工事業者と小売や外食産業バイヤー等との商談会を開催。(R5.11月開催予定)

参考) R4. 11月開催  
域内43事業者が参加し、30バイヤーを招聘、120件のWEB商談を実施。

各構成府県市のWEB商談件数

大阪府	京都府	兵庫県	滋賀県	和歌山県	鳥取県	徳島県	大阪市	堺市	京都市	神戸市
9	9	34	5	22	14	16	7	3	1	0

招聘バイヤー一覧

食品卸(14): エストベリー(株)、オアシス(株)、(株)ジャポニックス、(株)セイノー商事、(株)アサヒヤコーポレーション  
(株)クアパパ、(株)サンコー、(株)ドウシシャ、(株)ナシオ、(株)ふるさとサービス、(株)千趣会、  
(株)北海道食品研究院、(株)鈴木栄光堂、ジャパンフード(株)  
食品小売(3): (株)福田屋百貨店、(株)三越伊勢丹、(株)西友  
通販(3): natuha、(株)グランデ、西日本高速道路サービス・ホールディングス(株)  
サービス(2): 楽天グループ、(株)LUSH OBT事業部  
外食(3): (株)朝日エアポートサービス、埼玉水産(株)、養命酒(株)  
ホテル・旅館(1): (株)ホテルグランヴィア岡山  
海外卸(1): Eastland Food Corporation(U.S.A)  
その他(3): (株)フィッシェル、(株)カタログハウス、(株)グッディ

## 戦略4 6次産業化や農商工連携の推進などによる競争力の強化

広域での農林水産業と異業種・異分野とのマッチング等により、6次産業化や農商工連携、スマート農業を推進し、新たな商品開発や販路開拓を進めることで競争力の強化を図る。

### 1 6次産業化や農商工連携の推進

各構成府県市で開催される異業種交流会等の情報を発信し、農林漁業者と府県市域を越えた商工業者とのマッチングを推進。

参考) R5 3件 (R5.8月末現在)  
(Facebookも活用)

### 2 スマート農業の推進

各構成府県市で開催されるスマート農業の展示会等の情報を発信するとともに、現場普及に係る取組を推進。

参考) R5 3件 (R5.8月末現在)  
(Facebookも活用)

#### 令和5年度 異業種交流会等の開催情報

##### 【京都市】「KYOTO Agri-Business Cafe」への新たな参加者、プロジェクトを募集!

京都市では、新しい農業のカタチを考えるビジネス交流会と題して、農家や民間企業、関係団体、大学、金融機関等の多様な主体が集まってワークショップを行う「KYOTO Agri-Business Café」を創設し、販路開拓や新たな農業関連ビジネスの創出に向け、これまで総勢146名の方に参加いただき、熱心な議論を重ねています。

この度、令和5年度からの新たな参加者及び「KYOTO Agri-Business Café」で取り上げるプロジェクトを募集しますので、お知らせします。

- (1) 募集開始日 令和5年4月10日 月曜日 午前10時から
- (2) 募集方法

ア ビジネス交流会への参加

#### 6次産業化や農商工連携の推進ページ

#### スマート農業に関するフェアやイベント等の情報をお届けします

##### 【和歌山県】令和5年度わかやまスマート農業実演会

農作業の省力・軽作業化に向け、スマート農業実演会を開催します。

[開催チラシはこちらから](#)

〈開催日程〉

○西牟婁会場

日時：令和5年8月28日月曜日 13：30～15：30

場所：紀南農業協同組合（田辺市秋津町）中央営農経済センター及び近隣ほ場

○日高会場

日時：令和5年8月29日火曜日 10：00～12：00

場所：和歌山県果樹試験場うめ研究所（みなべ町東本庄）

#### スマート農業に関する情報ページ

# 戦略5 農林水産業を担う人材の育成・確保

構成府県市の農林水産就業支援情報を広く発信し、人材の育成・確保につなげる。

## 1 「関西広域連合農林水産就業ガイド」の作成

構成府県市の農林水産業への就業支援情報を掲載した「就業ガイド」を作成し、各府県市が実施する就業相談会やホームページ、Facebookで紹介。

参考) R4 新・農業人フェア、構成府県市の就業相談会など、35イベントで活用

## 2 「大学校ガイド」の作成

各農業大学校や林業大学校の特徴や専攻コースなどを掲載した「大学校ガイド」を作成し、府県間で情報を共有するとともに、ホームページ、Facebook等で広く周知することで、人材の相互受入を推進。

参考) 連合域内のR5入学生の相互受入 農業大学校12人、林業大学校19名

## 3 「農林水産就業促進サイト」の運営

農林水産業への就業希望者に各府県市の就業支援情報を広く発信。



**農林水産就業促進サイト (関西で農林水産業を始めたい方へ)**

関西広域連合では、構成府県市が実施する農林水産業への就業相談会の開催情報や研修制度、補助事業の概要などの就業支援情報を集約した「就業ガイド(農業版、林業版、漁業版)」及び「農林水産就業促進サイト」を作成しましたので、情報収集にご利用下さい。

**各種就業情報はこちらから**

- ▶ [農業の情報 \(就農促進サイトへ\)](#)
- ▶ [林業の情報 \(林業版就業促進サイトへ\)](#)
- ▶ [漁業の情報 \(漁業版就業促進サイトへ\)](#)

各種就業ガイド

農林水産就業促進サイト

# 戦略6 都市との交流による農山漁村の活性化と多面的機能の保全

地域の活性化と多面的機能の保全を図るため、情報発信やイベントの開催等を通じ、都市農村交流活動を促進する。

## 1 「都市農村交流サイト」の運営とデジタルスタンプラリーの実施

ホームページで域内の優良事例や交流施設を紹介するとともに、観光・体験農園等の交流施設を対象にデジタルスタンプラリーを実施。

参考) HP掲載 50事例及び510施設 (R5. 8月末現在)  
デジタルスタンプラリー (10~2月) 147施設参加

## 2 都市農村交流のための人材育成

### ○ アドバイザーの追加登録と派遣

都市農村交流に関する知見を有する人材を「アドバイザー人材バンク」に登録し、地域からの要請に応じ派遣。

参考) 登録 30名  
派遣 R4 のべ4名 (滋賀県→大阪府、兵庫県 等)

### ○ アドバイザーの活動事例の発信

アドバイザーが活動した事例をホームページへ掲載。

参考) 22事例掲載 (R5. 8月末現在)

### ○ 現地検討会の開催

都市農村交流優良事例の発表やワークショップを実施。  
(R5.11月 京都府亀岡市で開催予定)



The poster for the 'ええとこ発見! スタンプラリー' (Eeto-ko Hakkai! Stamp Rally) features a central circular logo with a lightbulb and the text 'ええとこ発見! スタンプラリー' and '施設利用で、チェックイン!'. Below the logo, it states the period '開催期間 2023年10月1日(日)~2024年2月29日(木)'. The main text reads 'ぜひぜひと詰まった地域の魅力を体験して 3スタンプを集めると、抽選で豪華商品が当たる!' (Experience the charm of the region packed with 'ぜひぜひ' (Eeto-ko) and collect 3 stamps to win luxury goods through a lottery!). It also mentions '自然豊かな魅力が詰まった閑静エリアが舞台のデジタルスタンプラリーです。' (This is a digital stamp rally where the stage is a quiet area with rich natural charm.) and '閑静を舞台に盛り上げられるデジタルスタンプラリーに参加し、豪華賞品をGETしましょう!' (Participate in the digital stamp rally with a quiet stage and get luxury prizes!).

It includes a 'スタンプラリーの遊び方' (How to play the stamp rally) section with three steps: 1. 社会的施設に付いて、体験したり施設を利用しよう! (Experience or use social facilities!), 2. 各施設に登録しているQRコードからチェックイン! (Check in from the QR code registered at each facility!), 3. スタンプを集めて、プレゼント応募にチャレンジしよう! (Collect stamps and challenge for a prize!).

The 'プレゼントの応募条件' (Prize application conditions) section states 'スタンプを3つ獲得すると、1口分の抽選に申し込める!' (When you collect 3 stamps, you can apply for a lottery for 1 portion!) and 'スタンプを集めて5つ多すると、30%にアップ!' (Collecting 5 stamps increases the chance by 30%). The prize is '素敵な府県産品を抽選でプレゼント!!' (Luxury products from prefectures selected by lottery!!).

At the bottom, it says '詳しくはWEBサイトをチェック!' (Check the website for details!) and provides the URL 'https://gsyugyo-rally.com' and a QR code. The deadline is '応募締切 2024年2月29日(木)'.

デジタルスタンプラリー